

新たな観光と地域づくりをテーマとしたシンポジウムを開催

「第9期北海道総合開発計画」のキックオフイベントとして、胆振・日高地域で活躍する先駆者に登壇いただき、「新たな観光と地域づくり」をテーマに議論を交わし、地域の多様な主体と共に未来を創る「共創」の取組のきっかけとするシンポジウムを開催。

- 日時 令和6年11月22日(金) 14:00-16:00
- 会場 ウポポイ(民族共生象徴空間) 体験学習館別館3号館 (WEB配信併用)
- 参加者数 計212人(会場:93人、WEB:119人)

プログラム

- 基調講演：観光から観『公』へ～胆振・日高の可能性と戦略～
石黒 侑介氏 (北海道大学大学院 国際広報メディア・観光学院 准教授)
- パネルディスカッション：先駆者と語る新しい観光と地域づくりのカたち」
- 【コーディネーター】石黒 侑介氏 (北海道大学大学院 国際広報メディア・観光学院 准教授)
- 【コメンテーター】山崎 貴志氏 (国土交通省北海道運輸局観光部 次長)
- 【パネリスト】南 智子氏 (株式会社第一滝本館 代表取締役)
田中 照彦氏 (えりも観光協会 副会長)
江川 理恵氏 (Sotoasobu 代表)
木村 美咲氏 (株式会社平取町アイヌ文化振興公社 主任)

基調講演

観光から観『公』へ～胆振・日高の可能性と戦略～
北海道大学大学院 国際広報メディア・観光学院 准教授 石黒 侑介氏

■引き算の連携論

- ・広域連携は「足し算」になりがちであるが、「引き算」の視点が重要。
- ・連携を継続し続けるには、「地形」や「色」のようなロジックと覚悟が必要。

■住・観の関係性をサステナブルに

- ・観光による地域づくりでは住と観の関係性を持続可能にすることが必須。
- ・欧州のような「住観共用」施設の整備や生活圏と観光圏の間の空間整備が求められる。

■サステナブルをトガらせる

- ・「マス」と「サステナブル」を2項対立で捉えるのではなく、両者を最適化することが重要。
- ・トガれるところをトガらせていき、その取組を支えるネットワークを公正にしていける。

■観光から観『公』へ

- ・従来の「光(=資源・歴史)」を観るという「資源論」から脱して、どのように地域づくりをするのか、どのように意思決定をマネジメントするのかを考えていける。
- ・「共に創る」ためには、「公(=地域づくりを育む力やその有様)」を観る「観『公』」の視点が重要。



パネルディスカッション

先駆者と語る新しい観光と地域づくりのカたち

■南 智子氏 (株式会社第一滝本館 代表取締役)

- ・人口減少が進むなかで、登別も「住んでよし訪れてよし」のまちにしなければならない。まちの活気づけのためには滞在人口、滞在消費の増加が必要。ATはその一助となる。
- ・ATトラベラーがガイドなしで体験できるインフラを整備していきたい。そのためには、ハイキングフィー等を導入し、地域にお金が落ちる仕組みを構築することが望ましい。



■田中 照彦氏 (えりも観光協会 副会長)

- ・地域住民を観光に引き込む際には、住民が望んでいるかを確認することが重要。
- ・地域振興を次世代に継承することは住民の義務である。
- ・観光を持続可能にするには、関わる人が経済的に自立する仕組みが必要。



■江川 理恵氏 (Sotoasobu 代表)

- ・訪問地の自然・人・施設に対するリスペクトや大切にしなければならないという「愛の循環」を生むことで、観光の課題解決につなげていきたい。
- ・ガイドの地位を向上させ、ガイド人口を増やしたい。そのために、ガイドの経済的な持続性を若い世代に示していきたい。



■木村 美咲氏 (株式会社平取町アイヌ文化振興公社 主任)

- ・「アイヌ文化」に関する観光でも、地域が求めている観光の「カたち」は各地域で異なる。それをキャッチし、自分たちに何ができるかを考えていきたい。
- ・観光地としての様々な課題はあるが、地域を盛り上げたいという思いは皆同じである。できることを一歩ずつ進めていきたい。



■コメンテーター 山崎 貴志氏 (北海道運輸局観光部 次長)

- ・観光は裾野の広い産業だが、様々な体験を通して地域を知ってもらうためには、多様な業種と共に取り組んでいかなければならない。観光の側から「共に創る」という意識をもって進めなければ、持続可能な地域づくりには繋がらない。



■コーディネーター 石黒 侑介氏 (北海道大学大学院 国際広報メディア・観光学院 准教授)

- ・観光業は様々な業に支えられており、観光業を盛り上げるためには多様な主体を巻き込むことが必要となる。その際には、「地域が何を求めているのか」という視点が求められる。地域の皆様と手を携え、先駆者を巻き込み共に地域を創っていただきたい。

